

町政を問う

3月議会では3人の議員が登壇し、

町の考えをただした。

Q 新型コロナウイルス感染症の対応は

A 感染症拡大防止に積極的に取り組んでいく

宮嶋健太郎 議員

新型コロナウイルス感染症の予防及び拡大防止のため、様々なイベントの自粛、教育機関の休校措置などで社会的影響は計りしれない。今後の町の対応について以下の点を問う。

- (1) 新型コロナウイルス感染症に向けたこれまでの対応と、今後の対策について。
- (2) 住民の暮らしを守るため、感染症対策備品や生活必需品の一定確保について。
- (3) 国・県とも連携した休業補償や中小企業をつなぎ融資について。

A 町長

(1) 町の対応方針としては、不特定の人が集まる町主催イベントの中止又は延期、感染症予防対策の徹底、民間イベントの自粛要請をし

ている。今後についても、国・県の対応等具休策を、町民の皆様によりわかりやすく情報提供し、感染症拡大防止に積極的に取り組んでいく。

(2) 感染症対策備品は公施設や医療従事者等に対する備えとして保健センターで確保している。生活必需品は防災計画に基づき最低限の数量を備蓄しているが、「自助・共助」の考えのもと日ごろから各家庭で備蓄に取り組んでいただけるよう啓発活動に努めていきたい。

(3) 国や県では、経営相談窓口の開設や、資金繰り支援措置としてセーフティネットの発動、さらに仕事を休んだ保護者の賃金補償や、感染症対策資金の

運用など支援策を講じている。町としては、現行の「中小企業損失補償」や「勤労者生活安定融資」を活用していきたい。

Q 地域観光資源の活用について

大河ドラマ『麒麟が来る』にあわせて、岐阜県全域で地域の観光資源を見直す動きが出ている。当町においても、日吉神社・三重塔（稲葉一鉄）をはじめとし、戦国時代に有名な逸話をもつ白山神社（徳川家康）や、善学院（竹中半兵衛）など歴史的遺産がある。

これら歴史的遺産を観光資源としてもっと活用してはどうか。

A 町長

本町においては戦国時代ゆかりの神社仏閣とし

て、白山神社や善学院、瑞雲寺など歴史ファンが興味を引く伝承がある。これまで脚光を浴びることのなかった文化財を含む歴史的遺産、それらにまつわる逸話など、地域に眠っている資源を新たな観光資源として磨き上げ、これまでの観光資源

と組み合わせることで新たな魅力を創出することはとても重要なことと考える。今話題になっている戦国時代ゆかりの歴史的遺産を新たな視点で話題性を持たせて情報発信することで、集客の増加、賑わいの創出を図りたい。



竹中半兵衛とゆかりのある善学院

Q

洪水ハザードマップを更新するねらいは何か

A

想定しうる最大規模の災害リスク情報を共有するため

小川榮一 議員



近年多発する大規模水害

「令和2年度重点施策の要旨」に「近年多発している大規模水害への対応として、最新の情報を網羅した洪水ハザードマップを作成し、住民に周知することにより、防災意識の高揚を図ります。」と述べられている。そこで尋ねる。

(1) 平成28年度に作成したハザードマップとの違いは何か。

(2) 「防災意識の高揚」の為に、ハザードマップをどのように活用していくのか。

A 町長

(1) 前回の浸水想定区域図は「計画規模降雨」という、河川整備の目標とする降雨を条件としていて、揖斐川でいうと約100年に1回の確立で発生する降雨量で作成した。

今回のハザードマップの浸水想定区域図は「想定最大規模降雨」で、約1000年に1回の確立で発生する降雨量で作成するものである。それに平野井川をはじめとした中小河川についても掲載し、想定し得る最大規模の災害リスク情報を共有するために更新するものである。さらに、

(2) 前回と同様に全戸国土交通省の手引きに沿って、町民の皆さんに情報が伝わりやすく、分かりやすい形で作成していきたいと考えている。

(2) 前回と同様に全戸配布を行い、町のホームページや、国土交通省が運営するハザードマップポータルサイトへの掲載も予定している。どのくらい浸水するかを認識してもらうと同時に、防災情報、避難情報、タイムライン、指定避難所等を確認して、「いつ」「何をやるのか」をあらかじめ想定することにより、防災意識の高揚につなげていきたいと考えている。また、ハザー

ドマップの見方使い方を説明することにより、地域防災に関する意識向上を図るため、出前講座などの機会を有効活用していきたいと考えている。

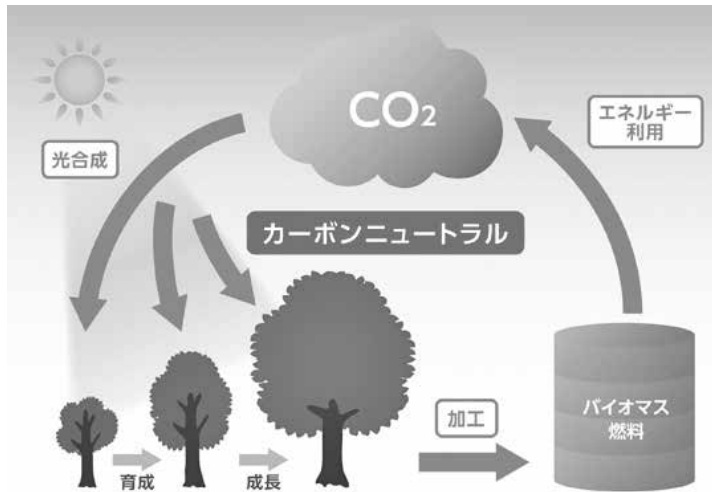


町内における「木質バイオマス発電所」計画について



企業に適切な対応を促していきたい

鈴木愛子 議員



カーボンニュートラルのイメージ

今、ご承知のように地球規模の気候変動による非常事態に人類は直面している。

地球温暖化によって海面が上昇し、それによって全国各地でゲリラ豪雨や台風による甚大な被害が発生している。

地球を守るため、国を超えて世界中が一丸となって温室効果ガスの削減に取り組むべきである。

昨年11月20日、丸紅火力(株)より、町内の帝人(株) 揖斐川事業所内で計画している「木質バイオマス発電事業」について説明があった。

その際、関係する区民に対し、住民説明会を求めた。

それ以降、中間報告もないまま今日に至っている。

住民の声を踏まえて次の点について尋ねる。

(1) 木材(チップ)を燃焼して発生するCO₂

は、再び木に吸収されるから新たなCO₂の排出にならないという「カーボンニュートラル」の考え方は、本当に信頼に値するのかが。

球温暖化に配慮した取り組みである。

A 町長

(1) 京都議定書における取り扱い上、CO₂を排出しないものとされており、国際的に認められている。また、バイオマスはエネルギー供給構造高度化法において、太陽光、風力、水力などとともに、再生可能エネルギーとして定められている。このことから、カーボンニュートラルの考え方については、理論的にも、法的にも認められたものと考えられ、地

丸紅火力の対応は、最も近接する範囲の方々へ、個別に説明する形で先ごろ実施され、また、地元との協議により、近隣地域へ説明資料を回覧したと聞いている。

(2) 開催するといった「住民説明会」はされたのか、開催されていないのであれば、なぜ住民の不安解消に町として努力しないのか。

企業の事業計画についての地元対応は、本来、企業の責任において対応すべき問題である。

しかしながら、企業の立地、操業においては地域との情報共有が必要となることから、今後とも企業の適切な対応を促していきたい。

議会
だより

表紙写真を募集

あなたの写真で議会だよりの表紙を飾ってみませんか。

平成30年5月号より、「伝統・文化・風習」をテーマに表紙の写真に掲載しています。

神戸町の魅力をより多くの皆様に発見・発信していただくために表紙の写真を募集いたします。

(テーマ) 有形無形文化財や地域文化を形づくる伝統や風習などの写真

(応募方法) 必要事項を記入の上、郵送、電子メールまたは持参

(応募先) 神戸町議会事務局
gikai@town.godo.lg.jp



議会を傍聴
してみませんか

6月定例会の予定です。

☆会期の日程

6月1日(月) 開会、議案の説明

6月10日(水) 一般質問

6月11日(木) 議案の審議

☆場所

役場3階 議場

☆時間

午前9時30分から

委員会の動き

3月定例議会

民生文教常任委員会

3月4日(水)

協議議題

1. 定例議会提出議案審査
2. 報告事項
 - ①令和4年4月以降に実施する成人式事業の対象年齢
 - ②ごうどスポレクDAY 2020

総務建設常任委員会

3月5日(木)

協議議題

1. 定例議会提出議案審査
2. 報告事項
 - ①ごうどさくら祭り
 - ②FC岐阜ホームタウンデー
 - ③ふれあいごうど朝市
 - ④公共下水道の供用開始
 - ⑤下水道接続件数



ふるさと再発見

表紙の写真は、町の重要文化財である「北一色の桜」です。樹齢300年以上、高さは約9m、北一色墓地の入口東側にあります。

その昔、桜の木の根元に「乳地蔵」があり、この地蔵を抱くようにして生育したことから、通称「乳母桜」と呼ばれています。

桜の成長とともに、地蔵が幹に巻き込まれるようになったので、地蔵を取り出し、その跡が今でも空洞になっています。

撮影に訪れた日は大変天候も良く、枝を茂らせ、美しい花を咲かせていました。

【乳地蔵(町重文)】
幹の中から取り出されたこの「乳地蔵」に祈願すると、母乳がよく出るようになる、言い伝えられています。

現在は桜の木に隣接する、六地蔵と並んで安置されています。